

第 38 回「南山大学英語教員セミナー」概要

開催日時 : 2014 年 7 月 30 日 (水) ~ 8 月 1 日 (金)、10 時 ~ 15 時

開催場所 : 南山大学名古屋キャンパス R 棟・R56 教室

テーマ : 言語学・文学・オーラルコミュニケーション研究から英語教育への示唆

講師 : 有元 将剛 (南山大学名誉教授)

武田 悠一 (元南山大学外国語学部教授、元日本英文学会中部支部長)

Richard Miles (南山大学外国語学部講師)

村杉 恵子 (南山大学外国語学部教授)

2014 年度の英語教員セミナーでは、文学理論と言語理論、そして南山大学英米学科で行われるオーラルコミュニケーションの理論と実践とコミュニケーション論から、高校での英語教育に応用しうる点について考えます。

1 日目は、南山大学外国語学部英米学科の村杉恵子講師が「心理言語学」から英語教育へ示唆しうる点について導入した上で、本学で長年、言語理論と英語教育について重要な研究を重ねてこられた有元将剛講師が、言語の理論的研究によって得られた知見が高校の英語教育にとって有益であるということについて講義します。人間言語の普遍性と個別性という新しい「目」で、受講生と一緒に英語の文法体系について考えます。

2 日目は南山大学外国語学部英米学科で活躍している Richard Miles 講師が実践につながる方法論を紹介します。英語教育分野の最新の実践法を「英語で」講義します。以下は Miles 講師からのメッセージです。

“How communicative are your English lessons? This workshop will start by examining some of the difficulties faced by educators when trying to institute a communicative approach in the English language classroom. It will then move on to equip participants with a range of practical activities and ideas to help facilitate a more communicative English classroom, with particular emphasis being placed on utilizing oral presentation techniques. The overall aim of this workshop is to present participants with an opportunity to further learn and reflect on their teaching practices and to do so in English.”

3 日目は、アメリカ文学と文学理論についての研究・著作活動を続けてこられた武田悠一講師が、文学を特権化するのではなく、他の文化領域と関連づけて文化論的に捉えるという最近の文学研究の流れをふまえて、英語教育になぜ文学が必要なのかを、具体例に即して考えます。最後に村杉恵子講師が、言語運用とコミュニケーション能力に関して “language arts” の観点も視野に入れて講義します。

みなさんとともに、新しい南山大学外国語学部英米学科から、よりよい英語教育に向けて、新たな試みを編み出せる機会にできたらと願っています。